



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 富士紡ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3104 URL <https://www.fujibo.co.jp/>  
代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 雅偉  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 佐々木 辰也 TEL 03-3665-7612  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	34,333	6.6	6,019	20.7	6,231	19.9	4,253	16.7
2025年3月期第3四半期	32,192	20.5	4,987	149.2	5,195	116.2	3,644	120.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 4,901百万円( 34.0%) 2025年3月期第3四半期 3,658百万円( 78.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	377.03	—
2025年3月期第3四半期	321.37	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	70,090	50,250	71.7
2025年3月期	66,608	47,460	71.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 50,249百万円 2025年3月期 47,459百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	60.00	—	70.00	130.00
2026年3月期	—	75.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	85.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,400	5.8	7,500	15.8	7,700	15.4	5,000	11.7	443.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	11,354,000株	2025年3月期	11,354,000株
2026年3月期3Q	98,200株	2025年3月期	10,733株
2026年3月期3Q	11,282,440株	2025年3月期3Q	11,341,649株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、継続的な物価上昇や物流コスト・人件費の増加に加え、米国の関税政策や地政学リスクなどの動向が景気の下振れリスクとなっており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような経営環境の下、当社グループは中期経営計画『増強21-25』の基本戦略に基づき、当期を最終年度として「事業ポートフォリオの改革」と「各事業の増強」に取り組んでいます。事業の柱である研磨材事業は、AI関連向け先端半導体やデータセンター投資の需要増加を背景に受注が堅調に推移しました。また、化学工業品事業も、電子材料や高機能樹脂など、高い成長性を持つ分野が牽引し、受注が堅調に推移しました。生活衣料事業では、人件費やコストの上昇、円安の影響により厳しい状況が続いています。その中、消費者の節約志向が根強く、店頭販売も苦戦を強いられました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2,140百万円(6.6%)増収の34,333百万円、営業利益は1,031百万円(20.7%)増益の6,019百万円、経常利益は1,035百万円(19.9%)増益の6,231百万円となりました。これから特別損益、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比608百万円(16.7%)増益の4,253百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### ①研磨材事業

世界の半導体市場は、AIやクラウドインフラ、先端電子機器などに対する継続的な需要を背景に、今後も成長が見込まれております。このような中、超精密加工用研磨材の半導体デバイス用途(CMP)は、生成AIの普及によるHBMなどのメモリや最先端ロジック向け半導体の需要増加により受注が堅調に推移しました。シリコンウエハー用途は、汎用品用途の需要は弱いものの、先端品用途の需要は堅調で一定水準の売上を確保しました。ハードディスク用途はデータセンター向けの需要が戻り、液晶ガラス用途では中国の家電補助金政策によりパネル需要が好調に推移し、受注が増加しました。

この結果、売上高は前年同期比2,192百万円(15.3%)増収の16,529百万円となり、営業利益は1,058百万円(29.7%)増益の4,616百万円となりました。

#### ②化学工業品事業

機能性材料、医薬中間体および農薬中間体などの受託製造は、半導体を含む電子材料市場の拡大が継続していることに加え、在庫調整が続いていた農薬市況においても緩やかな回復傾向が見られ、受注が堅調に推移しました。また、柳井・武生両工場の稼働も総じて高い水準を維持しました。

この結果、売上高は前年同期比613百万円(6.1%)増収の10,703百万円となり、営業利益は160百万円(17.0%)増益の1,105百万円となりました。

#### ③生活衣料事業

繊維素材は、人件費の増加やコストの高騰、円安の影響を受け、厳しい環境が続いています。繊維製品は、アウトドア向け製品が、ECと実店舗を組み合わせたOMO戦略を展開し、専門店への卸売りや販促活動を強化したことで、認知度と売上が計画以上に伸びています。一方、海外向け販売は、日中対立の影響により新規受注が減少しました。主力である年間定番品についても、売場の縮小や消費者の買い控えが重なり、売上が落ち込みました。

この結果、売上高は前年同期比460百万円(8.6%)減収の4,918百万円となり、営業利益は108百万円(21.3%)減益の400百万円となりました。

④その他

化成品部門は、医療機器用部品やデジタルカメラ用部品の受注は堅調に推移しました。金型部門は、自動車用途では業界の不透明感が続き、2026年度に向けて案件が徐々に具体化しているものの、回復には至っていません。事務機器用途は、開発案件の端境期にあり売上が伸び悩んでいますが、医療分野を中心とした新規分野への展開を進めています。また、ホットランナーについても、需要に波があり、車載関連を中心に受注が増加傾向にあるものの、業績回復には時間を要しています。

この結果、売上高は前年同期比205百万円(8.6%)減収の2,182百万円となり、営業利益は78百万円減益の102百万円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は前連結会計年度末に比べて3,481百万円増加の70,090百万円となりました。

流動資産は12百万円増加の25,065百万円となりました。これは、売上債権が減少しましたが、現金及び預金や棚卸資産が増加したことなどによります。

固定資産は3,468百万円増加の45,025百万円となりました。これは主として化学工業品事業における設備投資により有形固定資産が増加したことによります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度末に比べて691百万円増加の19,840百万円となりました。

流動負債は261百万円増加の12,761百万円、固定負債は429百万円増加の7,079百万円となりました。これは、仕入債務や未払法人税等が減少しましたが、その他に含まれる設備投資に係る負債が増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて2,789百万円増加し、50,250百万円となりました。これは、剰余金の配当による減少が1,638百万円、自己株式の取得などによる減少が477百万円ありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加が4,253百万円あったことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの業績は、全体としては概ね予想通りに推移しているため、通期の業績予想につきましては2025年10月31日公表の数値から変更しておりません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,065	9,008
受取手形及び売掛金	10,038	8,668
電子記録債権	533	606
商品及び製品	1,031	1,280
仕掛品	2,558	2,540
原材料及び貯蔵品	1,830	1,924
その他	1,000	1,043
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	25,052	25,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,080	11,743
土地	15,068	14,927
その他（純額）	9,626	12,858
有形固定資産合計	36,776	39,529
無形固定資産		
のれん	862	757
その他	211	207
無形固定資産合計	1,073	965
投資その他の資産	3,705	4,530
固定資産合計	41,556	45,025
資産合計	66,608	70,090

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,772	3,387
電子記録債務	1,276	2,340
短期借入金	321	763
未払法人税等	1,863	650
引当金	815	479
その他	3,449	5,139
流動負債合計	12,499	12,761
固定負債		
長期借入金	150	90
退職給付に係る負債	4,088	4,016
資産除去債務	523	527
その他	1,887	2,446
固定負債合計	6,649	7,079
負債合計	19,148	19,840
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	1,273	1,277
利益剰余金	35,846	38,401
自己株式	△28	△505
株主資本合計	43,765	45,847
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,329	1,907
繰延ヘッジ損益	△5	9
土地再評価差額金	1,505	1,566
為替換算調整勘定	936	983
退職給付に係る調整累計額	△71	△64
その他の包括利益累計額合計	3,694	4,402
非支配株主持分	0	0
純資産合計	47,460	50,250
負債純資産合計	66,608	70,090

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	32,192	34,333
売上原価	20,915	21,748
売上総利益	11,277	12,584
販売費及び一般管理費		
給料及び賃金	1,181	1,225
退職給付費用	113	107
賞与引当金繰入額	93	107
技術研究費	1,312	1,286
その他	3,588	3,837
販売費及び一般管理費合計	6,289	6,564
営業利益	4,987	6,019
営業外収益		
受取利息	1	8
受取配当金	73	96
固定資産賃貸料	224	232
その他	49	31
営業外収益合計	349	367
営業外費用		
支払利息	16	6
固定資産賃貸費用	47	46
その他	76	102
営業外費用合計	140	156
経常利益	5,195	6,231
特別利益		
固定資産売却益	0	24
投資有価証券売却益	208	—
特別利益合計	209	24
特別損失		
固定資産処分損	84	111
減損損失	0	166
特別損失合計	84	278
税金等調整前四半期純利益	5,320	5,977
法人税、住民税及び事業税	1,546	1,522
法人税等調整額	129	201
法人税等合計	1,675	1,724
四半期純利益	3,644	4,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,644	4,253



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,644	4,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	578
繰延ヘッジ損益	13	15
為替換算調整勘定	△82	47
退職給付に係る調整額	4	6
その他の包括利益合計	13	647
四半期包括利益	3,658	4,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,658	4,901
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を繰り延べて処理する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	14,336	10,089	5,378	29,804	2,387	32,192	—	32,192
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	14,336	10,089	5,378	29,804	2,387	32,192	—	32,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	2	3	—	3	△3	—
計	14,337	10,089	5,380	29,807	2,387	32,195	△3	32,192
セグメント利益又は損 失(△)	3,558	944	509	5,012	△24	4,987	△0	4,987

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	研磨材 事業	化学 工業品 事業	生活衣料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	16,529	10,703	4,918	32,150	2,182	34,333	—	34,333
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,529	10,703	4,918	32,150	2,182	34,333	—	34,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	2	2	—	2	△2	—
計	16,529	10,703	4,920	32,153	2,182	34,335	△2	34,333
セグメント利益又は損 失(△)	4,616	1,105	400	6,122	△102	6,019	0	6,019

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業及び化成成品事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産において、売却の意思決定を行った土地について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては166百万円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,460百万円	2,395百万円
のれんの償却額	105	105